

公開実用平成 2-25901

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報(U) 平2-25901

⑰ Int. Cl.¹

A 45 D 7/02
1/04

識別記号

Q
C

序内整理番号

7618-3B
7618-3B

⑱ 公開 平成 2 年(1990) 2 月 20 日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑲ 考案の名称 ヘアーアイロン

⑳ 実 願 昭63-102306

㉑ 出 願 昭63(1988) 8 月 1 日

㉒ 考 案 者 桑 畑 広 幸 福岡県田川郡方城町大字伊方4680番地 九州日立マクセル株式会社内

㉓ 出 願 人 九州日立マクセル株式会社 福岡県田川郡方城町大字伊方4680番地

㉔ 代 理 人 弁理士 折 寄 武 士

明 細 書

1 考案の名称

ヘアーアイロン

2 実用新案登録請求の範囲

- (1) 1対の開閉自在な髪挟み部材1・2に髪挟み面15・20を相対向状に形成してなるヘアーアイロンにおいて、

一方の髪挟み面15にこれの全面もしくは部分的に遠赤外線放射用セラミック11を備え、他方の髪挟み面20上における、前記遠赤外線放射用セラミック11と対向する箇所に、熱反射面24を形成してあることを特徴とするヘアーアイロン。

3 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、遠赤外線を放射可能にしたヘアーアイロンの改良に関する。

(従来技術)

この種のヘアーアイロンとして、例えば、実開昭62-143401号公報に示されるように開閉自在な上下1対の髪挟み部材の各先端に、髪挟

公開実用平成 2-25901

み用の加熱板を相対向すべく設け、その両方の加熱板の対向面にそれぞれ遠赤外線放射用セラミックを備えたものがある。

従って、これによれば、遠赤外線は、特に髪の毛に対する透過力に優れるため、短時間で髪の毛を加熱乾燥させることができ、ヘアーアイロン作業が能率よく行える。

(考案が解決しようとする課題)

しかるに、上記したヘアーアイロンでは、髪の毛がその両面からセラミックで挟まれてこすられる形になるため、髪の毛は極度に擦り傷を負うおそれ大である。また、そのように髪の毛を挟む両面に高価なセラミックを備えるとなると、コスト高にもなる不利がある。

本考案は、上記のような遠赤外線放射用セラミックを髪挟み面に備えるヘアーアイロンにおいて、できる限り髪の毛に擦り傷を負わずことなく、しかもコストの削減を図ることを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために、本考案のヘアーア



イロンでは、相対向する髪挟み面 15・20 間においてその片面のみの全面もしくは部分的に遠赤外線放射用セラミック 11 を備え、その他面には前記セラミック 11 からの遠赤外線を反射させる熱反射面 24 を前記セラミック 11 に対向させて形成したものである。

〔作用〕

髪挟み面 15・20 間に髪の毛 H を挟むと、遠赤外線放射用セラミック 11 から放射する遠赤外線が挟まれた髪の毛 H の片面側が照射され、その髪の毛 H の他面側には髪の毛の間を通過して熱反射面 24 で反射する遠赤外線が照射され、結局、髪の毛は、その加熱乾燥の効能面ではその両面がセラミックで挟まれる場合と略同様に加熱乾燥されることになる。

また、このとき髪の毛 H はその片面が遠赤外線放射用セラミック 11 と直接接しないため、髪の毛のセラミックとの擦り合わせによる傷付きが少なくなる。

〔実施例〕


公開実用平成 2-25901



本考案に係るヘアーアイロンの一実施例を第1図および第2図に基づき説明する。この実施例におけるヘアーアイロンは上下1対の髪挟み部材1・2からなり、上部の髪挟み部材1は温風供給手段3およびグリップ部4を具有する。その温風供給手段3およびグリップ部4はヘアドライヤーおよびこれのグリップ部を利用するもので、ヘアドライヤーの温風吹出口5に上部の髪挟み部材1を着脱可能に装着している。

温風供給手段3は、前後方向に細長い円筒状の本体ケース6の内部に、前から順にヒータによる熱源7、モータ8、軸流型のファン9を並べて配置している。そして本体ケース6の前部下面に温風吹出口5を、後部に吸込口10をそれぞれ設け、モータ8でファン9を回転させて風を吸込口10より吸い込み、熱源7によって加熱したのち吹出口5より温風を下向きに吹き出すようにしている。

上部の髪挟み部材1は、四角形の開口棒状に形成され、その上部に前記温風吹出口5と合致する温風受口13を有するとともに、その下部に型板



14を嵌め込み固定している。この型板14は断面V形または円弧形に形成して下方に凸形の髪挟み面15を有するとともに、多数の吹出孔16を列設している。

この型板14の髪挟み面15の吹出孔16を除く全面にはアルミナを主体とするセラミック粉末を塗布すること等によって遠赤外線放射用セラミック11を備えている。

髪挟み面15に対し遠赤外線放射用セラミック11を備える手段としては、その他に、型板14を遠赤外線放射用セラミックそのもので成形するか、または型板14を遠赤外線放射用セラミック粉末を混入した成形材料で成形する。


下部の髪挟み部材2は、概ね上部の髪挟み部材1と同一形状の開口枠状に形成され、その開口枠内に型板17と背面板18とを上下に平行に対向すべくはめ込むとともに両板17・18間に板ばねによる弾性体19を介装する。髪挟み板2に対し背面板18は固定するが、型板17は上下動自在で前記弾性体19の弾性力で常に押し上げ付勢

公開実用平成 2-25901



される状態に支持する。この下部の型板 17 はステンレスあるいはアルミ板などを断面円弧形に形成して上方に凸形の髪挟み面 20 を有し、この髪挟み面 20 は研磨加工等により熱反射面 24 に形成される。なお、この下部の型板 17 にも上部の型板 14 と同様に多数の孔を列設しておいてもよい。

この下部の髪挟み部材 2 は上部の髪挟み部材 1 に対し、髪挟み面 15 の遠赤外線放射用セラミック 11 と髪挟み面 20 の熱反射面 24 とが対向すべく重ね合わせてその後端部どうしを支軸 21 で回転自在に枢結し、支軸 21 上に装着したばね 22 で下部の髪挟み部材 2 を上部の髪挟み部材 1 に対し常に閉じ方向に回転付勢している。下部の髪挟み部材 2 の支軸 21 より後部には操作つまみ 23 を突設し、この操作つまみ 23 を手で押さえることにより下部の髪挟み部材 2 が支軸 21 まわりにはばね 22 の力に抗し回転し、髪挟み面 20 が上部の髪挟み部材 1 の髪挟み面 15 から離反するようになっている。



このように構成されたヘアーアイロンは、上部の髪挟み面15の吹出孔16から温風を吹き出し、髪挟み面15・20間に挟まれる髪の毛Hをその温風によって加熱乾燥しながら、ストレートにセットして行くが、このとき髪挟み面15上の遠赤外線放射用セラミック11が温風で加熱されて遠赤外線を前記髪の毛Hの片面側に照射し、また髪の毛の間を通る遠赤外線は熱反射面24で反射してこれ又髪の毛Hの他面側に照射して透過することになる。従って、遠赤外線放射用セラミック11が髪挟み面15・20の片面側のみに備えられるにもかかわらず、遠赤外線は髪の毛Hの両面によく照射できる。

(別実施例)

第3図ないし第5図は本考案の別実施例を示している。この実施例のヘアーアイロンは型板14の髪挟み面15に対する遠赤外線放射用セラミック11の備え方に特徴を有し、型板14に第5図(a)に示すごとき丸孔形または第5図(b)に示すごとき長孔形状の吹出孔16を髪挟み面15よりも低

公開実用平成 2-25901



く沈む皿形に設けて該吹出孔16の髪挟み面側に凹部25を形成し、該凹部25内に遠赤外線放射用セラミック11を塗布附着するか、またはリング状に成形した遠赤外線放射用セラミック11を嵌合することによって遠赤外線放射用セラミック11が髪挟み面15よりも低く沈む状態に備えられたものである。その他の構成については上記実施例のものと同様である。

これによれば、髪の毛Hが髪挟み面15上で遠赤外線放射用セラミック11に直接接触してこすれるのをできるだけ避けることができて有利である。

勿論、遠赤外線放射用セラミック11の表面を透光性を有する合成樹脂で覆うことにより、髪への傷付きは更に効果的に防止できるし、この場合はその照射量減退を誘因する遠赤外線放射用セラミック表面の汚れを該被覆樹脂の簡単な清掃のみで抑制することが可能となる。

第6図は本考案の更に別実施例を示している。上記した各実施例では髪をストレートに仕上げる



べく髪挟み面 15・20 を双曲面状に形成してあるが、これに対し髪挟み面 15・20 を断面波形に形成してカーリあるいはウェーブを付与するようにしたものであり、その一方の髪挟み面 15 上に遠赤外線放射用セラミック 11 を備え、他方の髪挟み面 20 を熱反射面 24 に形成してある。

また、この実施例では、一方の髪挟み面 15 の全体に遠赤外線放射用セラミック 11 を備え、他方の髪挟み面 20 の全体を熱反射面 24 に形成してあるが、これに代えて第 7 図および第 8 図に示すように一方の髪挟み面 15 に遠赤外線放射用セラミック 11 と熱反射面 24 とをその左右方向（挟み髪方向）に交互に配列し、他方の髪挟み面 20 の前記遠赤外線放射用セラミック 11 と対向する箇所に熱反射面 24 を、前記熱反射面 24 と対向する箇所に遠赤外線放射用セラミック 11 をそれぞれ備えるものとしてもよい。この場合、熱源 7 を有しない側の髪挟み面 20 上の遠赤外線放射用セラミック 11 は、熱源 7 を有する側の髪挟み面 15 の吹出孔 16 から吹き出される温風によ

公開実用平成 2-25901



り加熱されて遠赤外線を放射することになる。

また、第9図に示すように一方の髪挟み面15に遠赤外線放射用セラミック11と熱反射面24とを前後（挟み髪と直交する方向）にして配列し、他方の髪挟み面20には遠赤外線放射用セラミック11と熱反射面24を前記のものとは前後逆にして配列したものであってもよい。

本考案は、ヘアアイロンの更に他の形態として、第10図に示すように熱源を内蔵して加熱される円筒形状の髪挟み部材1と、その円周一部の上に重なり合う断面円弧形の髪挟み部材2とからなるものにも同様に適用できる。この場合、断面円弧型の髪挟み部材2の内面の髪挟み面20を熱反射面24とし、他方の円筒形状の髪挟み部材1の円周上の全周または前記髪挟み部材2と対向する髪挟み面15上に遠赤外線放射用セラミック11を備えている。

また、本考案は熱源を有する側の髪挟み部材1の髪挟み面15は温風で加熱する方式に代えて、ヒータで直接加熱されるものにも同様に適用でき

る。

〔考案の効果〕

本考案のヘアアイロンは、相対向する髪挟み面15・20の一方に全面もしくは部分的に備えた遠赤外線放射用セラミック11と、他方に前記セラミック11と対向するよう設けた熱反射面24との間で、髪の毛を挟んでセットするようにしてあるので、遠赤外線放射用セラミックどうし間で髪の毛を挟むという従来のヘアアイロンに比し、髪の毛の傷み具合は極めて少なくなるうえに、遠赤外線を髪の毛に有効に照射透過させることができる。しかも、遠赤外線放射用セラミック11は髪挟み面15・20の片面のみですむことからコスト面でも有利となる等の利点がある。

4 図面の簡単な説明

第1図および第2図は本考案に係るヘアアイロンの一実施例を示しており、第1図は髪の毛を挟んだ状態で示す横断面図、第2図は一部切欠き状態で示す側面図である。

第3図ないし第5図(a)・(b)は本考案の別実施例

公開実用平成 2-25901



を示しており、第3図は横断面図、第4図は一部の拡大断面図、第5図(a)および第5図(b)はいずれも吹出孔部分の斜視図である。

第6図は本考案の更に別実施例を示す横断面図である。

第7図および第8図は本考案の更に別実施例を示しており、第7図は斜視図、第8図は横断面図である。

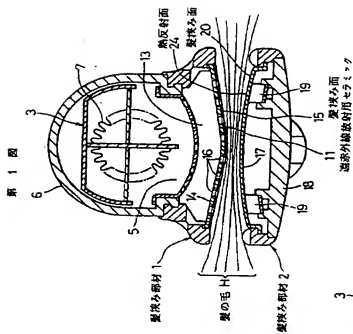
第9図は本考案の更に別実施例を示す髪挟み部材の平面図である。

第10図は本考案の更に又別実施例を示す斜視図である。

- 1・2・・・髪挟み部材、
- 11・・・遠赤外線放射用セラミック、
- 15・20・・・髪挟み面、
- 24・・・熱反射面。

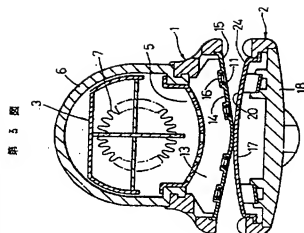
考 案 者 桑 畑 広 幸
実用新案登録出人 九州日立マクセル株式会社
代理人 弁理士 折 寄 武 士





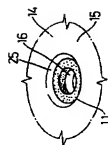
出 願 人 九州日立マクセル株式会社
代理人 弁護士 野 寄 武 士

代理人 奔理士 折 寄

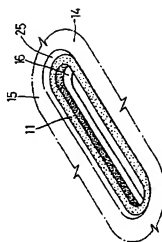


第 5 図

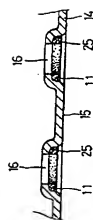
第 5 図 (a)



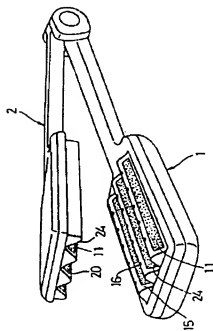
第 5 図 (b)



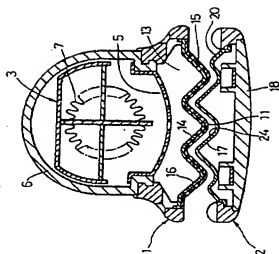
第 4 図



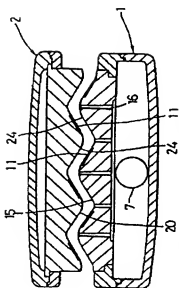
第 7 図



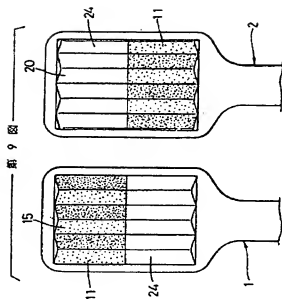
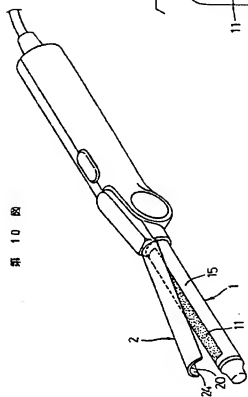
第 6 図



第 8 図



第 10 図



出 願 人 九州日立マクセル株式会社
代理人 井澤王 新 等 貳 士

16
実開 2-25901

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.